



日本安全性薬理研究会

Japanese Safety Pharmacology Society

第8回 日本安全性薬理研究会 学術年会 プログラム

演題名は多くが仮題です。各セッションの時間割や内容などは、ポスター発表のエントリー数などによって変更されることがありますので予めご承知おきください。(敬称略)

<1日目> 2016年2月10日(金曜日)

10:00~17:00 ポスター発表展示 <アネックス セイホクギャラリー>

9:50~10:00 開会挨拶 <弥生講堂 一条ホール>

第8回学術年会会長 吉永 貴志 (エーザイ株式会社)

10:00~10:45 特別講演 <弥生講堂 一条ホール>

「Intensive QT 評価による TQT waiver 戦略」

(エーザイ株式会社 メディスン開発センター 日本臨床薬理室 安田 早苗)

10:45~12:15 ワークショップ <弥生講堂 一条ホール>

「安全性薬理研究会分科会報告 (J-ICET, iSmart)」

1. J-ICET, in vivo ECG

(小松 竜一 中外製薬株式会社)

2. J-ICET, in vivo BR/HR

(香川 俊樹 田辺三菱製薬株式会社)

3. iSmart, in silico

(朝倉 圭一 日本新薬株式会社)

12:30~13:30 ランチョンセミナー

(内容及び演者：未定)

14:00~14:40 Flush talk (ポスター1分間紹介) <弥生講堂 一条ホール>

(ポスター発表者のみなさまに、発表内容を1分間でご紹介いただきます)

15:30~16:20 ポスター発表コアタイム (奇数 No.) <アネックス セイホクギャラリー>

16:40~17:25 海外招待講演 <弥生講堂 一条ホール>

「CNS Safety Pharmacology: Current Trends and Future Directions」

(Simon Authier, CiToxLAB)



日本安全性薬理研究会

Japanese Safety Pharmacology Society

17:25～17:50 海外招待講演 <弥生講堂 一条ホール>

「TBD」

(Alan S. Bass, Site Lead, Global Discovery Science Support, Merck)

18:30～ 懇親会 <山上会館本館 1F>

< 2日目 > 2016年2月11日(土曜日)

8:00～14:00 ポスター発表展示 <アネックス セイホクギャラリー>

9:00～11:00 シンポジウム1「中枢神経系」 <弥生講堂 一条ホール>

「臨床における中枢性副作用予測へのチャレンジ」

1. てんかん様神経活動の画像判別
(池谷 裕二 東京大学・薬学部・薬品作用学)
2. TBD)
(TBD)
3. CNS 創薬を支援する疾患モデルの開発
(橋本 均 大阪大学・薬学研究科・神経薬理学分野)

11:30～12:20 ポスター発表コアタイム(偶数 No.) <アネックス セイホクギャラリー>

12:40～13:40 ランチョンセミナー

(内容及び演者：未定)

14:20～16:05 シンポジウム2「循環器, 他」 <弥生講堂 一条ホール>

「臨床における副作用回避へのチャレンジ」

1. In vitro における心筋細胞収縮性評価の現状と可能性
(早川 智広 ソニー株式会社)
2. Framework for Integrated Cardiovascular Risk Assessment: Past, Present and Future
(千葉 克芳 第一三共株式会社)
3. Comprehensive Prediction Method for Adverse Drug Reaction by Using System Pharmacology
(鈴木 洋史 東京大学・医学部附属病院・薬剤部)



日本安全性薬理研究会

Japanese Safety Pharmacology Society

16:05～17:00 安全性薬理 Q&A <弥生講堂 一条ホール>

17:00～ 閉会挨拶 <弥生講堂 一条ホール>

JSPS 優秀発表賞 表彰式 吉永 貴志 (エーザイ株式会社)

閉会挨拶 第9回学術年会会長 安藤 博之 (小野薬品株式会社)

以上